



【先週 3月3日～3月9日の外食の出来事】

■鳥貴族、上場後初の赤字へ

(株)鳥貴族の通期業績は黒字予想から一転、当期利益を3億5600万円の赤字予想とした。価格改定後の売上不振のほか、不採算店の閉鎖費用が嵩み通期業績予想を下方修正。当期利益が赤字になるのは上場後、初めて。

■肉汁餃子製作所「ダンダダン酒場」、マザーズ上場が決定。餃子ブームを牽引。

「肉汁餃子製作所 ダンダダン酒場」を展開する株式会社NATTY SWANKYが、東京証券取引所マザーズ市場への新規上場を承認された。2018年12月末で直営47店舗、フランチャイズ19店舗の合計66店舗。

■木曽路も、2日間一斉休業。スシローから波及。

しゃぶしゃぶ日本料理の株式会社木曽路も、5月7日、8日の2日間で店舗の一斉休業を実施する。同社は、これまでに働き方改革として、5連続休暇の取得促進、営業時間の短縮、店舗作業の機械化・IT化などを進めてきた。

■いきなり！ステーキ、19年度も210店舗出店予定。

株式会社ペッパーフードサービスは、2019年度(1～12月)に「いきなり！ステーキ」業態で210店舗を新規出店する。内訳は、直営では路面70店舗、商業施設30店舗。フランチャイズでは路面90店舗、商業施設20店舗。

■塚田農場運営会社に課徴金 ブロイラーも「地鶏」表示

消費者庁は1日、居酒屋「塚田農場」で、ブロイラーを使った料理があるのに全て地鶏を使用しているように表示したのは景品表示法違反(だとして、運営会社エー・ピーカンパニーに課徴金計981万円の納付を命じた。

■松屋フーズ、ロシア初進出 3月にモスクワ1号店

松屋フーズホールディングスは3月末にもロシア・モスクワに1号店を初出店する。大手牛丼チェーンでは初めて。ロシアで高まる日本食人気を取り込む。5年で30店舗を整備し、売上高で30億円を目指す。

■うかい、第3四半期(H30年4月～12月)の業績 増収減益

うかいの平成31年3月期 第3四半期の売上高106億6400万円(前年同期比3.8%増)、営業利益2億6200万円(同50.5%減)、経常利益2億2900万円(同55.8%減)、四半期純利益1億2800万円(同62.2%減)であった。

■ココス、第3四半期(H30年4月～12月)の業績 減収減益

ココスジャパンの平成31年3月期 第3四半期の業績は売上高429億3200万円(対前年同期比1.8%減)、経常利益4億3900万円(同46.7%減)、四半期純利益8500万円(同81.0%減)であった。

■焼肉ライク、一気に7店舗出店。フランチャイジー候補は既に150社。

株式会社ダイニングイノベーションの「焼肉ライク」が、22日(金)オープン横浜を皮切りに千葉・秋葉原・五反田・上野・台湾・ジャカルタと7店舗続けてオープンする。横浜鶴屋町店は焼肉ライク初のフランチャイズ契約1号店。